

8. 広報活動

- 8-1. 講演会・シンポジウム等
- 8-2. センターが依頼を受けて実施した講座等
- 8-3. なまづ（センターミニコミ誌）
- 8-4. 新聞記事タイトル

8-1. 講演会・シンポジウム等

■特別セミナー

日時： 2009年4月3日（金） 13:30-15:00

場所： 環境総合館 講義室1

講師： Prof. Jonathan M. Lees (Department of Geological Sciences, University of North Carolina, Chapel Hill)

タイトル： "The Kamchatka-Aleutian Collision Zone: Mother of all Cusps"

■技術職員向け、地震火山・防災研究センターの観測研究紹介

日時： 2009年6月4日（木） 9:00-11:30

2009年6月5日（金） 9:30-11:30

場所： 環境総合館4F 災害対策室ホール

講師： 6月4日(木) 山岡耕春, 田所敬一, 山中佳子

6月5日(金) 鷺谷 威, 渡辺俊樹

内容： 地震火山・防災研究センターのミッション及び研究内容について解説する

■地下構造探査に関するセミナー

日時： 2009年7月15日（水） 13:30-15:00

場所： 理学部E館411号室

講師： (株)地球科学総合研究所 研究開発部 阿部 進氏, 白石和也氏

話題： A. 地震波干渉法による地下構造イメージング技術の基礎（白石）

B. 物理探査の視点から見た自然地震波による地殻構造イメージングの可能性（阿部）

C. 地質構造形成過程の再現(砂箱アナログモデル実験)と3D弾性波動シミュレーション（白石）

■物理探査学会 2009年秋季学術講演会

物理探査学会第121回学術講演会@名古屋大学

日程： 2009年11月23日（月）～25日（水）

場所： 名古屋大学東山キャンパス 野依記念学術交流館

特別講演（カンファレンスホール2F）

日時： 2009年11月24日（火） 15:40-17:40

(1) 「海溝型巨大地震研究における海底地殻変動観測の重要性と展望」

田所敬一(名古屋大学大学院 地震火山・防災研究センター 准教授)

(2) 「何が過去100年の地球気温を支配したか?～NASA/GISS 世界気温DBの解析」

小川克郎(名古屋産業大学環境マネジメント研究科長)

■日本リモートセンシング学会平成 21 年度秋季学術講演会

日程：2009 年 11 月 26 日（木）～ 27 日（金）

場所：名古屋大学東山キャンパス 豊田講堂およびシンポジオン

特別講演：2009 年 11 月 26 日（木）16:20-

(1) 「千年持続可能な社会への挑戦」

高野雅夫（名古屋大学大学院環境学研究科 地球環境科学専攻 准教授）

(2) 「地震予知の科学」

山岡耕春（名古屋大学大学院環境学研究科附属 地震火山・防災研究センター教授）

■特別セミナー

日時：2010 年 1 月 15 日（金） 13:00-14:30

場所：理学部 E 館 4 1 1 号室

講師：山田卓司（ハワイ火山観測所（米国地質調査所）特別研究員）

タイトル：「2006 年にハワイ島で起きた Mw6.7 のキホロ湾地震について」

■特別セミナー

日時：2010 年 2 月 8 日（月） 15:30～16:30

場所：地震火山・防災研究センターセミナー室（E411）

講師：松多信尚（地震火山・防災研究センター特任研究員）

タイトル：「台湾東部・台東縦谷断層の逆断層クリープ現象と変動地形」

8-2. センターが依頼を受けて実施した講座等

年 月 日	講座・講演会の名称 (場所・主催者情報を含む)	講演タイトル	担当者
2009/06/01(月) -05(金)	愛知老人大学	地震の基礎的な知識, 地震発生 のメカニズム, 東海地震と 東南海地震, 防災対策など	木股文昭
2009/06/20(土)	学校法人南山学園聖霊中学・高等 学校: 第二回土曜セミナー(高校生 12名, 教員2名)	火山について	中道治久
2009/07/17(金)	長野市生涯学習センター: 長野県大 規模災害ラジオ放送協議会年次総 会 ラジオ局, 県の防災担当者, ライ フライン各事業主(約50名)	「東海地震」についての研究 最前線のお話, 長野県地震 災害を考える, 防災情報・災 害情報の「発信者」の心構え	木股文昭
2009/07/30(木)	愛知教育大学附属岡崎中学校生徒1 名と保護者	地震について, 東海地震・予 知・震度(中学校の校外追求 活動の一環として)	中道治久
2009/07/30(木)	富山県立南砺総合高等学校2年生8 名が理学部(地球惑星科学科)見学	地球惑星科学系講座の説明と 見学	井龍(地球惑星科学科長) 山本(地球科学) 竹内・林(地質・地球生物学) 中道(地球惑星ダイナミクス) 荒川(地球惑星物理学)
2009/08/24(月)	滋賀県立彦根東高等学校(生徒16名 と教員1名) S S H分野別研修	重力・重力探査についての講 義と実習	鷺谷 威 小澤和浩(環境学研究科博士 後期課程1年)
2009/10/15(水)	名古屋市中区役所ホール: 応急危 険度判定士講習会	地震の話	鷺谷 威
2009/11/05(木)	東海市勤労センター: 若手冶金エ ンジニアリング研究会	東海地域の地震災害	鷺谷 威
2009/11/11(水)	中津川市山口公民館: 自主防災会連 合会講演会	身近な活断層と過去の地震か ら学ぶ地震対策	田所敬一
2009/11/12(木)	名古屋大学教育学部附属高等学校1 年生2名	地震について(総合学習のた めの調査・研究活動)	中道治久
2010/01/15(金)	みよし悠学カレッジ20名	東海・東南海地震について	鷺谷 威
2010/01/27(水)	岐阜県関市立武芸小学校(6年生19 名)	「プレート, 地震, 断層」	鷺谷 威
2010/02/13(土)	武豊町役場防災交通課: 平成21年 度武豊町防災リーダー養成講座	迫り来る東海・東南海地震 (地震発生メカニズム等)	山中佳子
2010/02/14(日)	四日市市川島地区市民センター: 防 災を考える集い・川島 講演会	身近な活断層と地震災害への 備え: 自助、共助、地域で出 来ること	田所敬一
2010/02/17(水)	山県市立伊自良北小学校: 5, 6年生 19名	「プレート, 地震, 断層」	鷺谷 威
2010/03/07(日)	知多市立南粕谷小学校: 知多市立南 粕谷小学校「家庭教育推進学級」	地震と津波のはなし	田所敬一
2010/03/09(火)	四日市市立河原田小学校: 河原田地 区防災講演会	活断層の地震に備える	田所敬一
2010/03/12(金)	学校法人高田学園高田高等学校: 高 I数理コース生と希望者21名前後	地震の原理など地震の基礎知 識について	山中佳子
2010/03/19(金)	滋賀県立彦根東高等学校(2年 S S コース生徒20名と教員2名)	地震活動と地震観測	中道治久

精密水準測量による浅間山西山麓における上下変動(2007.5-2009.5)

木股文昭・Enrique Fernandez・松村祥央(名古屋大学)・村瀬雅之(日本大学)

齋藤公一滝・山際芳雄・飯野英樹(気象庁)

浅間山西山麓の車坂峠周辺で水準測量を実施した。前回、2007年5月の測量結果と比較し、高峰山を中心に最大5mmの隆起を観測した。2009年2月の噴火に伴い、山体膨張の地殻変動がGPS観測から検出されている。隆起は高峰山から6km離れる山麓まで広範な地域で観測され、圧力源は深さ5kmほど、 $3 \times 10^6 \text{m}^3$ の体積増加と推定する。

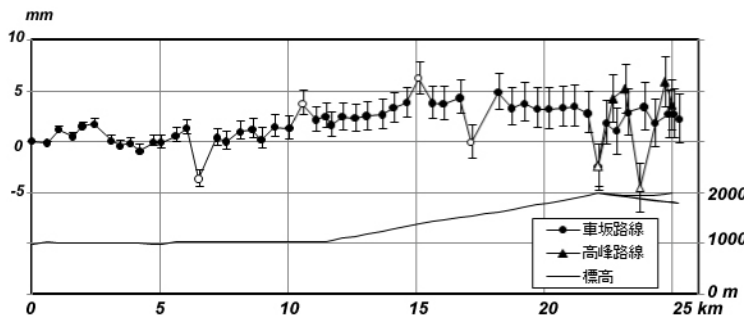
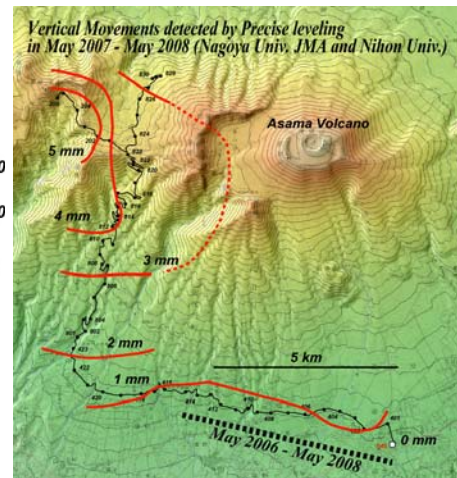


図1(上) 車坂峠水準路線における上下変動と水準路線の標高。2007年5月の測量結果と比較、追分の水準点549からの路線距離で変動を示す。○で示す上下変動は事故水準点と考える。

図2(右) 上下変動のコンターマップ



浅間山が2004年9月に引き継ぎ、2009年2月にも噴火し、降灰が首都圏でも観測された。噴火規模は2004年9月に次ぐと考えられている。GPS観測や広帯域地震計から圧力源での膨張が推定され、浅間山の西側、車坂峠から高峰高原の下に圧力源が貫入したと考えられる。ちょうど私たちが2005年5月に設置した水準路線のほぼ下である。さっそく、名古屋大学と日本大学、気象庁で測量を試みた。

2チーム、各3名で測量にあたり、29km、の路線を5月25-30日の5日半で終了した。比高1000m、勾配1/10の急峻な路線を1チーム1日あたり3km弱の効率で終えた。

2007年5月の測量結果と比較し得た上下変動を図1に示す。浅間山南山麓の追分に位置する水準点549からの上下変動で示す。水準点は路肩の構造物に設置しており、冬季のスリップ事故などで擾乱した水準点もある。そのような事故水準点を○で示し、議論から省く。

上下変動は緩やかな隆起を示す。隆起は中心が車坂峠の西、高峰山、もしくはさら

に西方で最大5mmに達する。南山麓の1000m林道と称される平坦な路線部、でも緩やかな隆起が観測され、隆起域はかなり広範にわたる。

国土地理院は2008年7月から2009年2月の噴火前までにM浅間鎌原AなどのGPS観測点で最大1cmの水平変動が観測されたことから、浅間山山頂火口の西北西約6km、地下約2kmで、ほぼ垂直に板状に $2 \times 10^6 \text{m}^3$ のマグマが貫入したと推定する(<http://www.gsi.go.jp/common/000045271.pdf>)。

今回検出した隆起の地殻変動からマグマの形状を推定するのは困難だが、球状と仮定すれば圧力源は $3 \times 10^6 \text{m}^3$ の体積で深さ5kmと推定できる。GPS観測による水平変動から推定されたマグマ貫入と比較すると体積はほぼ同じながらも5kmと深く求められる。また噴火後も上下変動が沈降に転じていないことから圧力源での急速な体積減少が生じていないと考える。

2007年は松村智之(当時:軽井沢測候所)と石川溪太・木股文昭(名大)が測量した。

8-4. 新聞記事タイトル

掲載日	掲載新聞	タイトル	掲載者名
2009.04.07	朝日新聞	被災10万人/伊の地震/ごく浅い場所で断層大きく動く	山中佳子
2009.04.08	毎日新聞	イタリア中部で起きた地震を解析	山中佳子
2009.05.01	中日新聞	備える その78「始まる防災教育」/安城市の志貴小学校	木村玲欧
2009.05.08	読売新聞	4月の地震イタリアで289人死亡	山中佳子
2009.05.27	毎日新聞	明日への伝言—昭和のあの日から/直下の恐怖・三河地震	木村玲欧
2009.08.11	中日新聞	静岡で震度6弱/早朝M6.5 87人負傷	山岡耕春
2009.08.12	日刊工業	11日の駿河湾沖で発生した地震教訓に/東海地震への備え	田所敬一
2009.08.21	静岡新聞	想定域周辺の変動警戒/駿河湾地震“東海”への影響は?	山岡耕春
2009.09.01	中日新聞	備える その82「活断層マップ」/三重県、先駆けネット	鈴木康弘
2009.09.25	中日新聞	中日新聞 伊勢湾台風50年特集	飛田 潤
2009.10.15	日刊工業	三重県の活断層の調査に協力	鈴木康弘
2009.12.18	日経新聞	伊豆でまた震度5弱/気象庁「群発地震、続く可能性」	山岡耕春
2010.01.15	読売新聞	ハイチ地震/横ずれ型、断層面は40キロ	山中佳子
2010.01.15	朝日新聞	海底崖400キロ活断層推定/静岡～九州「東南海」震源域に並行	鈴木康弘
2010.01.18	日経新聞	ハイチ大地震/首都で震度6強～7/断層、ずれた距離推計	山中佳子
2010.02.01	中日新聞	備える その86「体験の継承」/怖さを実感、後世に	田所敬一
2010.03.01	日経新聞	チリ経済へ打撃懸念/大地震、港湾の被害深刻	山中佳子
2010.03.17	朝日新聞	沖縄沖に大地震の巣?/プレート境界、ひずみ蓄積	田所敬一
2010.03.19	静岡新聞	東海地震は今/予知に新知見導入検討	山岡耕春

※新聞記事のリストの作成に際しては、名古屋大学災害対策室の災害アーカイブ資料検索システムを利用しました。